

大河ドラマ時代考証担当者と 現役大学院生が語る 『ジャパナレッジ版 史料纂集・群書類従』活用法

図書館総合展ウェビナー（Zoom開催）

2024年11月21日（木）15:00~16:00

主催：紀伊國屋書店、協力：ネットアドバンス、八木書店

『ジャパナレッジ版 史料纂集・群書類従』 を使った時代考証のススメ

大石 泰史 氏

（大石プランニング主宰）

最も身近な歴史エンターテインメントのひとつである大河ドラマ。時代劇の“リアリティ”はどのようにつくられるのか、史料オンラインデータベースの活用法を交えながら、数々の大河ドラマに時代考証担当として携わってきた研究者にお話いただきます。

1965年生、戦国大名今川氏を中心に、東海地域の戦国時代の研究を継続的に行う。静岡県史(中世)執筆員、勝浦市史編さん委員等の委嘱を受け、
・平成29年（2017）NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」時代考証担当その後、
・令和2年（2020）静岡市文化財保護審議会委員、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」古文書考証担当
・令和4年（2022）静岡市歴史博物館運営協議会委員
・令和5年（2023）NHK大河ドラマ「どうする家康」古文書考証担当
・令和7年（2025）NHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」古文書考証担当
現在、大石プランニング主宰



辞書にない言葉をどう調べるか？

百瀬 顕永 氏

（國學院大學大学院文学研究科博士後期課程史学専攻）

文献調査をしていて、辞書に載っていない言葉と出会ったらどうするか？様々な分野の研究で有効な、用例の収集におけるリサーチツールとしての『Web版史料纂集』活用法を具体的に紹介します。

イベント開催にあたって

「史料纂集」は、日本の歴史・文化研究における重要史料を、使いやすく翻刻した一大史料集成です。「大日本古記録」「大日本古文書」とともに、学界で最も信頼のおけるテキストとして評価され、これまで270冊以上を刊行しています。

このたび、2025年1月に「Web版 史料纂集」第3期がリリースされることを記念し、記念フォーラムを開催いたします。本フォーラムでは、図書館レファレンスや研究・教育現場での活用を念頭に、大河ドラマの時代考証という社会に広くかかわる利用例と、若手研究者による日々の利用の実例についてご紹介いただく予定です。

過去にも関連フォーラムを開催し、毎年大変ご好評をいただいております。2022年は、現役図書館員の方にご登壇いただき、レファレンス利用についてベンダーと共に検討をおこないました。2023年は、日本の古典文学・美術史の研究者の先生に学生への教育利用と、ご専門の研究分野での具体的な活用事例についてお話しいただきました。

第3弾となる今年も、ぜひご期待ください。図書館のご担当者様はもちろん、学生の方、研究者の方のご参加も心よりお待ちしております。

* Web版 史料纂集・群書類従の関連情報はこちら
(過去のフォーラム動画も掲載しています)



参加申込は、図書館総合展HPもしくは以下URLから！

申込フォーム

<https://forms.office.com/r/rfWwYW4nTH>



こちらのQRコードからも
アクセスいただけます。



イベントに参加・アンケートに回答
いただいた方に、【史料纂集クリア
ファイル】と特製カレンダー2025
「中世の絵巻」をプレゼントします。



お申込み・お問い合わせは

 **紀伊國屋書店**

デジタル情報営業部

電話：03-6910-0518

メール：online@kinokuniya.co.jp